



IoTを活用した電照菊栽培とマンゴー栽培(糸満市) ～ 農作業支援通知IoT “てるちゃん” ～

R2.4.1現在

実証実験者	KDDI ウェブコミュニケーションズ株式会社
事業概要	電照菊における電照の不点灯やマンゴーハウス内の温度異常などセンサー値の異常を検知して携帯電話等へ電話やSMSで通知

電照菊 (小菊) 糸満市における農業課題 マンゴー

電照切れが3日続くと開花

↓

深夜に電照を確認
(電気料金が安い深夜電力利用のため)

↓

体力的に大きな負担

沖縄県の小菊は出荷量シェアが43%で全国1位 (2016)

温度管理が品質に直結

↓

ハウス中央の温度計を確認
(定点観測が必要なため)

↓

作業効率が低下

沖縄県のマンゴーは出荷量シェアが56%で全国1位 (2015)

★「てるちゃん」のポイント

1. 農家を使い慣れた、最古級 ICT ツール「電話」を利用
2. 「電話」が、最新 ICT システムと連携
3. スマート農業への「踏み台」

◆ねらいと実現事項

1. 設置が容易 ⇒ 無線を使い、5分で設置
2. シンプルな機能 ⇒ 携帯電話へ通知するだけ
3. 低価格を実現 ⇒ 機能限定、外部機能利用、最新規格利用
4. 農業生産性の向上 ⇒ 巡回確認作業ゼロ



【今後の活動】 ●実証実験の継続 ●実サービス化(2019年度中頃を目標)

